

第41回 全国豊かな海づくり大会兵庫大会～御食国ひょうご～

第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会が昨年11月12日、13日に明石市をメイン会場として開催されました。

天皇、皇后両陛下ご臨席のもと13日に明石市民会館で式典行事、ベランダ護岸では海上歓迎・放流行事が行われました。



1 稚魚を放流される両陛下 2 天皇陛下から明石市漁業組合連合会の大西会長にノリの種が手渡される 3 漁業後継者と高校生が豊かな碧い海の未来を誓う (写真提供：明石市)

対談テーマ「^{あお}広げよう 豊かな海づくりを」

大会を終えて、明石の豊かな海を今後どのように次世代につないでいくのかを対談しました。

明石市議会豊かな海づくり大会推進委員会



市議会だより編集委員会

- 千住 啓介 委員長
- 尾倉あき子 副委員長

- 榎本 和夫 議長
- 辰巳 浩司 副議長
- 石井 宏法 委員
- 飯田 伸子 委員
- 林 丸美 委員

豊かな海づくり大会推進委員会とは

石井 市議会に「明石市議会豊かな海づくり大会推進委員会」(以下：委員会)を設置した目的を教えてください。

千住 明石は海のまちですが、漁業の売り上げと従事者が減ってきているため、大会を契機に漁業振興につなげたいという思いがあります。また、天皇、皇后両陛下が来明される機会を捉えて、市民の間に豊かな海づくりに対する機運を高めていくため、令和3年6月に設置しました。

大会を終えて

辰巳 新型コロナウイルスの影響が心配でしたが、両陛下にお越しいただくことができてよかったと思います。



左から榎本議長、辰巳副議長、千住委員長、尾倉副委員長

千住 大蔵谷インターから会場となった明石市民会館までと、明石西インターから兵庫県水産技術センターのある二見人工島までの沿道には、たくさんの人出がありました。

尾倉 多くの市民の方から、両陛下に沿道でお会いできてよかったという喜びの声を聞いています。

石井 榎本議長は大会主催者の1人として、両陛下のお迎えとお見送りをされました。

榎本 お見送りの際に、天皇陛下から「多くの市民の方に歓迎していただき、ありがとう」とお言葉をいただきました。

豊かな海を次世代につなぐ取り組み

辰巳 どのようにして市民と一緒に豊かな海を守り、次世代につないでいくかが課題です。

尾倉 漁業者の方々との連携も重要になると思います。

千住 委員会では、まず海の現状を知ろうと、漁業関係者との研修や勉強会を通じて生の声を聞き、不漁やノリの色落ちの原因の一つに海の栄養不足があると改めて認識しました。

林 その認識は、議員全員で共有できていると思います。

飯田 今後は全ての世代に対して、豊かな海に向けての課題を発信していく必要があります。

榎本 きれいな海と豊かな海は違うということが、子どもたちにも伝わったのではないのでしょうか。ここから、さまざまなことを豊かな海を守る活動に結びつけていきます。

石井 明石市として力を入れるべきところを、どのように考えていますか。

千住 海の栄養不足を改善するため、二見浄化センターの処理水に含まれる栄養塩が効果的に分布される方策の検討や海底耕耘、ため池のかいぼりなどの予算化を市に求めています。また、子どもたちには明石の魚を食べて、そのおいしさに気付いてほしいと思います。例えば、学校給食で「豊かな海給食」などを行ってはどうでしょうか。

林 私も学校教育や給食を通じた子どもたちへの取り組みは重要だと感じます。

千住 委員会では、未来永劫みんなで豊かな海をつかっていくために、豊かな海づくり条例などを制定できないかと話しています。



左から林委員、飯田委員、石井委員